

2014 BUSINESS REPORT

第63期 報告書 2013.4.1~2014.3.31



TAISEI ONCHO

株主の皆さまへ

「人の呼吸にもっとやさしく」

～より自然に近い環境づくりを目指し、
建築文化創造の担い手として、
未来に向かって邁進いたします。～



代表取締役会長
水谷 大介

代表取締役社長
山口 隆義

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第63期の業績についてご報告申し上げます。

我々の関連する建設業界の経営環境は、永年にわたり多くの不安要素が存在しており、閉塞状況が続いておりましたが、都市部での複数の大型プロジェクトの始動など、ようやく好転の兆しが見えてまいりました。

建設業界のみならず日本経済全体にとっても大きなチャンスであるのはもちろんですが、こうした機会だからこそ、足元を見失わず、フェアで誠実な経営方針を整えておくことが肝要と考えております。

3月に当社にとって第一号のメガソーラー発電所となる、「ぺんぎんメガソーラー発電所」が完成いたしました。これを契機に設備の熱源に関わる再生可能エネルギーの取り組みを強化し、お客様への提案力を高めてまいります。

また、かねてから進めている海外市場の開拓につきましても、ベトナム大手設備会社との業務・資本提携など、新たなビジネスモデルを確立し、テリトリーを拡大しております。常にお客様のご要望を的確に汲み取り、そのニーズに最大限応えながら、着実に地歩を固め、全社一丸となって業績の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大成温調株式会社 代表取締役会長 水谷大介
代表取締役社長 山口隆義

トップインタビュー

Q1

景気回復が叫ばれる中、 国内事業について手応えをお聞かせ下さい

円安や株価の上昇、さらにはオリンピック開催決定などを背景に、多くの企業が設備投資に前向きになってきました。弊社においても受注が増えているだけでなく、採算面でも良質な案件が増えており、昨年中盤からの業績回復には手応えを感じています。外部環境の改善だけでなく、私どもが長年取り組んできた「お客様との接点づくり」も実を結び始めました。大型案件のサブコンストラクターとして“待ちの姿勢”を決め込むのではなく、自分たちの特長やチャレンジする姿勢をお客様に知っていただき、お客様のニーズを引き出すような“攻めのセールス活動”を通じて、受注強化を図っています。例えば環境・省エネの分野では、単なる製品カタログだけでなく、初期費用や維持コストなど採算面の詳細も記載した具体的な施工事例集を作り、空調設備の効率化や太陽光発電の導入などをご提案しています。環境と（あとでお話する）海外という2つの分野は、弊社が設備工事会社として特色あるご提案のできる分野ですので、これからも積極的なアプローチを進めていきます。

Q2

建設業を中心に「人手不足」が指摘されていますが、 大成温調の現状はいかがですか

業界を取り巻く技術者不足は、我々にとっても深刻な問題であり、これに対処すべく、「人づくりを通じた成長」を2020年に向けた経営ビジョンの中心に据えています。長期的な視点に立って必要な人材や教育体制のあり方を追求し、環境が厳しい中であっても、ブレることなく新卒・中途社員のコンスタントな採用を継続してきました。その結果、偏りのない人材の配置や育成が実現してきております。また、協力会社様との間に築いてきた信頼関係も、大きな強みです。安全・衛生に関する情報共有や協力を目的とした連絡会を設置したり、継続的な取引関係を大切にするなど、長年にわたり協力会社様とのコミュニケーションや一体感の醸成を重視してきた結果、グループ全体として今回の景気回復の流れにも無理のないかたちで対応できていると感じています。



トップインタビュー

Q3

お話にあがった「人づくり」について 進捗をお聞かせ下さい

「技術力確認表」という新たな仕組みを社内でも開発し導入しました。これは、設計・工事・保守サービス・営業、といった職種別に社員が身につけるべきスキルを、きめ細かく明示した能力評価の基礎資料です。各項目に対する評価をもとに、社員一人一人に合わせた研修やOJT（実地教育）を実施することで、組織全体の底上げを図っています。弊社の場合、入社5年以内の若手だけでなく中堅層にも「もっと成長したい」と考える社員が多く、技術力確認表はこうした意欲ある人材に対して「具体的にどのようなスキルを身につけるべきか」を示す道標（みちしるべ）の役割も果たしています。技術力確認のプロセスは、評価を受ける側だけでなく、評価をつける上司にとっても組織や教育のあり方について振り返る絶好の機会となっており、社内に良い循環が生まれています。今年度は、確認表の内容をバージョンアップしながら「人づくり企業」としての取り組みを、さらに進化させたいと考えています。



新人研修の様様

Q4

4月にはメガソーラー事業が本格的にスタートしました。 狙いは何ですか

3月に埼玉県本庄市に竣工した「ぺんぎんメガソーラー発電所」は、おかげさまで順調に稼働しています。大規模太陽光発電に参入した目的は、売電を通じて得られる収入だけではありません。弊社は自らメガソーラー事業を手掛けることによって、用地選定や設計から工事・メンテナンスに至るまで全ての工程に関する経験を積むことができ、この点にこそ一番の価値があると考えています。電気料金が上昇傾向にある昨今、設備工事会社である大成温調は、お客様から「建物や工場の熱源」に関するご相談を受ける機会が増えています。その際には、太陽光も有力な発電手段としてご提案しています。「ソーラー発電を含めた幅広い選択肢の中から、お客様に最適な熱源をご提供する」というスタンスで取り組む中で、自社でメガソーラー



ぺんぎんメガソーラー発電所建設を視察する山口社長

発電を経験し苦労していることが、パネルメーカーへの単純な委託でない当事者意識に根ざした問題解決型の営業に繋がっていきます。お客様からも「実際に自分たちでやっているだけあって、大成温調さんの提案には説得力があるよね」とのお声を多数頂戴しており、太陽光発電事業から得られるノウハウは、私どもが最重視する「お客様との接点づくり」を推進する上でも大きな武器になると確信しています。

Q5

海外事業については特にベトナムにおいて 新たな取り組みを始められましたね

昨年6月に、ベトナムの大手設備工事会社であるシーレフィコ社の発行済み株式の20%を取得し、業務・資本提携を行いました。8月に行われた調印式にはマスコミを含め多数の方が出席され、現地での注目度の高さにこちらが驚くほどでした。現在、同社には3名の駐在員を派遣し、技術支援や日系企業向けの営業を行なっています。ベトナム人技術者の日本での研修受入れなども計画しており、すでに日系の大手食品会社様の現地工場案件を同社が受注する等の成果も生まれ始めました。このようなベトナムでの事業展開を通じて、「現地の有力な企業と資本提携し、互いに信頼できる関係をつくっていく中で、その企業を日本のお客様に自信を持ってご紹介し、パートナーシップを通じて成果を得る」という海外展開の新たなビジネスモデルを確立していきたいと考えています。



シーレフィコ社との調印式典にて。(日本ベトナム両関係者記念撮影)

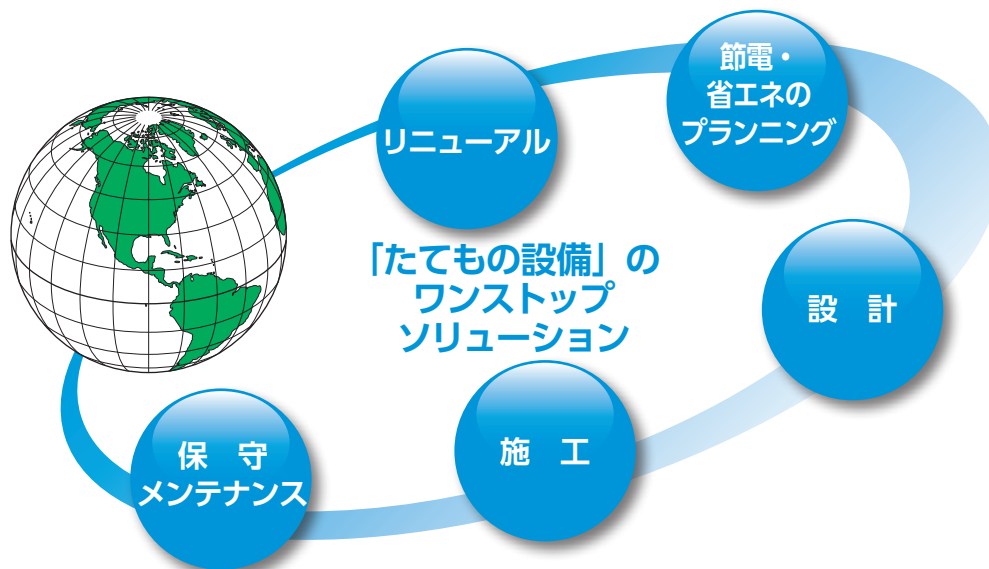
Q6

最後に株主の皆さまにメッセージをお願いします

業界を取り巻く環境がどのように変わっても、大成温調は今後とも株主の皆さま、お客様との信頼とコミュニケーションを大切にしながら、誠実さと技術力をもって成長し続けてまいります。おかげさまで、最近は海外投資家の方々にも注目していただけるようになってきました。株主の皆さまにおかれましては、引き続き私どもの長期ビジョンの実現を後押ししていただければ幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事業内容

大成温調は建物の新築、保守・修理・小工事、リニューアル工事
及び省エネ、節電提案等の環境改善を行う総合設備工事会社です



私たちは世界に^{はばた}跳躍く、総合設備のプロフェッショナルグループを目指します。
-Global Facility Solution Group-

2014年3月
竣工

国立がん研究センター 治療棟 (東京都中央区)



2013年4月
竣工

トモスミと (茨城県水戸市)



連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	33,535	34,390
有形固定資産	3,889	4,429
無形固定資産	64	87
投資その他の資産	2,750	3,125
資産合計	40,240	42,032
負債の部		
流動負債	21,414	22,598
固定負債	644	962
負債合計	22,058	23,561
純資産の部		
資本金	5,195	5,195
資本剰余金	5,087	5,087
利益剰余金	8,626	8,527
自己株式	△307	△382
その他有価証券評価差額金	156	226
為替換算調整勘定	△579	△30
退職給付に係る調整累計額	-	△152
少数株主持分	4	-
純資産合計	18,182	18,471
負債純資産合計	40,240	42,032

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	51,391	55,645
売上原価	47,285	50,483
売上総利益	4,106	5,162
販売費及び一般管理費	3,942	4,310
営業利益	163	852
営業外収益	321	314
営業外費用	58	83
経常利益	426	1,082
特別利益	145	-
特別損失	164	827
税金等調整前当期純利益	407	255
法人税、住民税及び事業税	183	230
法人税等調整額	△0	△43
少数株主損益調整前当期純利益	224	69
少数株主損失 (△)	-	△4
当期純利益	224	74

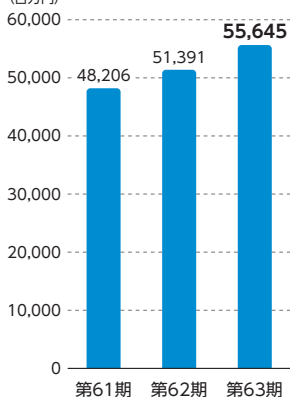
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,046	2,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	249	△878
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16	△436
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,329	1,522
現金及び現金同等物の期首残高	9,748	11,077
現金及び現金同等物の期末残高	11,077	12,600

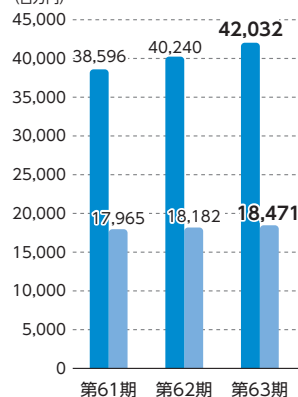
売上高

(百万円)



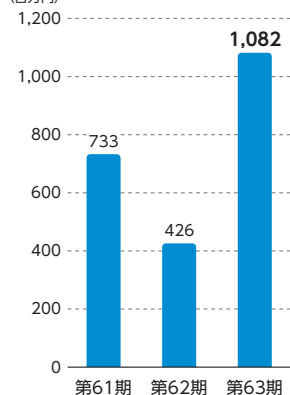
総資産・純資産

(百万円)



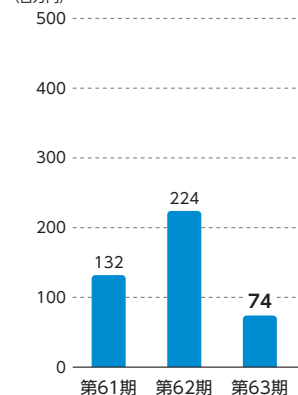
経常利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)



当社のHPでは、詳細なIR情報を掲載しております。

<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

トピックス

「ぺんぎんメガソーラー発電所」完成

大成温調が埼玉県本庄市に建設していた、当社の第一号メガソーラー発電所「ぺんぎんメガソーラー発電所」が完成し、3月25日（火）に売電を開始いたしました。

本設備は「エネルギー供給による環境への貢献とCO2の削減」を目的としております。エネルギー問題は、世界規模の重大課題であり、当社としても取り組むべき重要なテーマの一つに挙げております。

当社では今回の「ぺんぎんメガソーラー発電所」完成を弾みに、メガソーラーを始め、コージェネレーションや、蓄電池、バイオマス発電、風力発電など、設備の熱源に関わる再生可能エネルギーの取り組みを強化いたします。

お客様が建物の省エネや節電を考える上でのピークカットを含めた、多彩な選択肢を用意し、設備の更新等の提案につなげてまいります。



発電所全景

概要

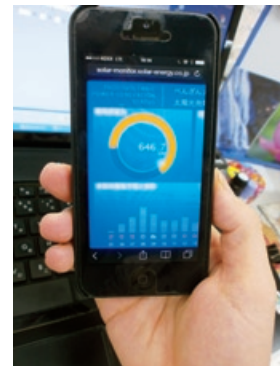
- ・住所 埼玉県本庄市下野堂124
- ・設置面積 10,431㎡
- ・発電規模 1,000kw (1MW)
- ・予想発電量 140万kwh/年
(一般家庭 400世帯分)

仕様

- ・アレイ台数 83基
- ・パネル枚数 3,080枚
- ・設置方角 真南→西 15.4°



発電状況は入口看板や携帯端末からも確認できるなど、エネルギーの「見える化」につとめています。



トピックス

社是等を刷新 -ステークホルダーの信頼に応えるフェアな経営姿勢を目指して-

2014年4月、大成温調グループは、会社の基礎・骨格ともいえる「社是」、「経営理念」等のコーポレート・メッセージを刷新いたしました。

新しい「社是」、「経営理念」は、創業の精神を踏まえ、より具体的な表現としたものであり、海外の関係会社を含めたグループ社員全員のよりどころとなるものです。

英文を併記して、「社是」にある『お客様第一』の精神を国内外の組織全体に根付かせることで、「外向きでフェアな組織風土」と「生産性の高い業務プロセス」の実現を目指してまいります。

経営ビジョンも含め、明確なコーポレート・メッセージを定着化させることで、大成温調グループの更なる発展をご期待頂けるものと存じます。

【社是】 【Company's Mission】	【お客様第一】 『Customer FIRST!』
【経営理念】 【Management Philosophy】	大成温調グループは、「信頼」と「誠実」の経営を通じ、「人財」と「技術」をもって、社会に選ばれる会社であり続けます。 『Taisei Oncho Group promises, through its “Trust” and “Sincerity”, to continue to be the company selected by the society in terms of “Human Assets” and “Technology”』
【経営ビジョン】 【Management Vision】	(Decade Strategy 2020) 人づくりの会社として成長する ～世界に跳躍く総合設備のプロフェッショナルグループへ (Decade Strategy 2020) Growing as a company enhancing human resources ~ Professionals of total M & E services in the global market

トピックス

「節電・省エネカタログ」の作成

メーカー各社とコラボレーションして、節電や省エネに関わる優良な機器、システムのカatalog、施工事例集「節電・省エネカタログ」を作成し、お客様に当社の施工と組み合わせて提案することを進めております。

項目ごとの効果や、補助金制度の詳細、関連法規なども紹介し、お客様が節電、省エネを考えるうえで、わかりやすく実践的な内容となっております。



新会社「ぺんぎんアソシエイツ株式会社」発足

4月からグループに新会社「ぺんぎんアソシエイツ株式会社」が発足しました。

「人材開発とエンジニア派遣・出向業務」をミッションとした会社です。

会社の施工体制をより効率的なものとするため、これまでの雇用条件の枠組みを拡大し、働く人の技能や特性に合った働き方を提供していきます。

新会社の発足により、グループとして、施工能力を高めていくだけでなく、人材戦略の多角化を図り、労働価値観の多様化に柔軟に対応できる体制を確立していきます。

■■■■■ 自社ブランド「ぺんぎん」 ■■■■■

創業間もない終戦当時、冷凍機メーカーであった当社は、冷凍機や業務用冷蔵庫、パッケージエアコンなどの当時の自社製品に、冷凍のイメージから「ぺんぎん」の愛称をつけました。当社がメーカーから設備業者へ生まれ変わった後も、「ぺんぎん」は、社内報の名前や同好サークルのネーミングとして、大成温調の歴史と共に歩んできました。

今回、第一号メガソーラー発電所に「ぺんぎん」の名を復活させたことを契機に、「ぺんぎん」を大成温調自社ブランド、及びコーポレートイメージとして、対外的に展開していくことといたしました。



創業当時のぺんぎんマーク

会社概況・株式情報

会社概況

商号	大成温調株式会社			
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301代 FAX.03(5742)4551			
創設	昭和16年4月3日			
立業	昭和27年12月22日			
資本金	51億9,505万7,500円			
従業員の状況 (平成26年3月31日現在)	664名			
役員 (平成26年6月27日現在)	代表取締役会長 水谷大介 代表取締役社長 山口隆義 取締役副社長 中尾信雄 専務取締役 但野吉三 専務取締役 中村恭三 常務取締役 水谷憲一 常務取締役 吉野利幸 取締役 佐藤夫 取締役 奥山徹夫 常勤監査役 宇川一博 監査役 杉博康 監査役 大久保和正			

(注) 監査役杉山博康氏及び大久保和正氏は、社外監査役であります。

ネットワーク 平成26年6月27日現在

大成温調株式会社

本社・支店	本社(品川区)、東北(仙台市)、関東(さいたま市)、東関東(千葉市)、横浜(横浜市)、静岡(静岡市)、名古屋(名古屋市中)、大阪(大阪市)、西日本事業部(福岡市)
営業所	青森(青森市)、盛岡(盛岡市)、秋田(秋田市)、山形(山形市)、気仙沼(気仙沼市)、郡山(郡山市)、茨城(つくば市)、宇都宮(宇都宮市)、群馬(太田市)、千葉県南(鴨川市)、東都(荒川区)、江東(江東区)、多摩(立川市)、厚木(伊勢原市)、山梨(中央市)、新潟(長岡市)、三島(三島市)、滋賀(大津市)、京滋(京都市)、神戸(神戸市)、奈良(奈良市)、和歌山(和歌山市)、広島(広島市)、四国(高松市)、沖縄(那覇市)
サービスステーション	東京 城南・中央(品川区)、東京 城北・中央(品川区)、東都(荒川区)、城東(江東区)、城西(杉並区)、多摩(立川市)、横浜(横浜市)、京浜(横浜市)、厚木(伊勢原市)、千葉(千葉市)、大宮(さいたま市)、太田(太田市)、宇都宮(宇都宮市)、我孫子(我孫子市)、静岡(静岡市)

株式の状況 平成26年3月31日現在

- (1) 発行可能株式総数 55,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 14,364,975株
- (3) 株主数 1,990名
- (4) 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	1,986千株	15.2%
大成温調取引先持株会	1,577	12.1
水谷日出夫	1,112	8.5
河村和乎	803	6.1
大成温調従業員持株会	743	5.7
一般財団法人ぺんぎん奨学財団	700	5.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	189	1.4
青木錠衛	180	1.4
小川恭弘	160	1.2
和田ふみ子	150	1.1

(注) 上記のほか自己株式(1,283,060株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
定時株主総会・期末配当	中間配当を行う場合には9月30日
中間配当	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネット)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
ホームページURL	
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行きます。
	ただし、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

当社及び重要な子会社（大成温調のグローバルネットワーク）

- 大成温調機電工程（上海）有限公司
- 大成温調香港工程有限公司



- 大成温調株式会社
- 温調エコシステムズ株式会社
- ペンぎんアソシエイツ株式会社



- ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION
- TAISEIONCHO HAWAII, INC.



- TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED



- SEAPRODEX REFRIGERATION INDUSTRY CORPORATION



※戦略的パートナー

- ONCHO PHILIPPINES, INC.



- ALAKA'I PACIFIC, INC.(GUAM)



- TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY. LIMITED



人の呼吸にもっと優しく

TAISEI
ONCHO

大成温調株式会社

ISO 9001 登録
14001

本社 ● 〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号

TEL.03 (5742) 7301(代) FAX.03 (5742) 4551



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。